

住宅用火災警報器と応急手当の普及啓発に関するアンケート

①「住宅用火災警報器について」

高島市では住宅用火災警報器の設置普及をはじめ、これを含む住宅用防災機器等の普及促進を図ることなど、住宅火災による被害の軽減に向けて取り組んでおり、調査結果を今後の活動に反映させるため、住宅用火災警報器に関するアンケートを実施しました。

②「応急手当の普及啓発について」

高島市消防本部が実施している応急手当講習には年間約2600人の方が受講されておりますが、さらなる応急手当の普及啓発に向けた取り組みが必要とされています。市民の皆様が感じている応急手当のイメージや、講習への参加意欲等を把握し、今後の講習をより良いものとするためにアンケートを実施しました。

【実施期間】令和2年11月2日（月）～令和2年11月30日（月）

【アンケート協力依頼者数】453人

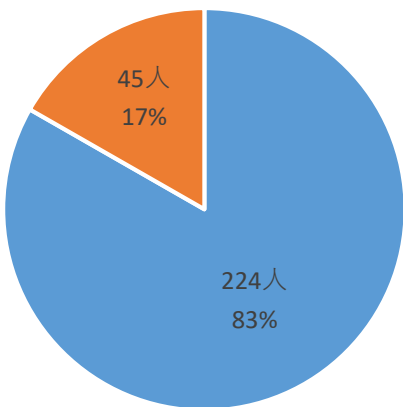
【回答者数】269人（ネット回答165人・郵送回答104人）

【回答率】59.4%

●住宅用火災警報器について

Q1.

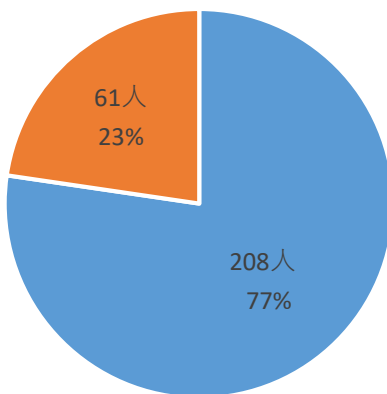
高島市火災予防条例で「住宅用火災警報器」を設置しなければならないことを知っていますか。



■ 知っている ■ 知らない

Q2.

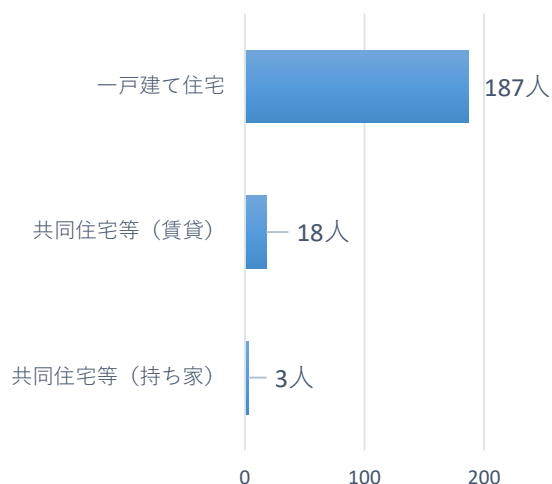
「住宅用火災警報器」を設置していますか。



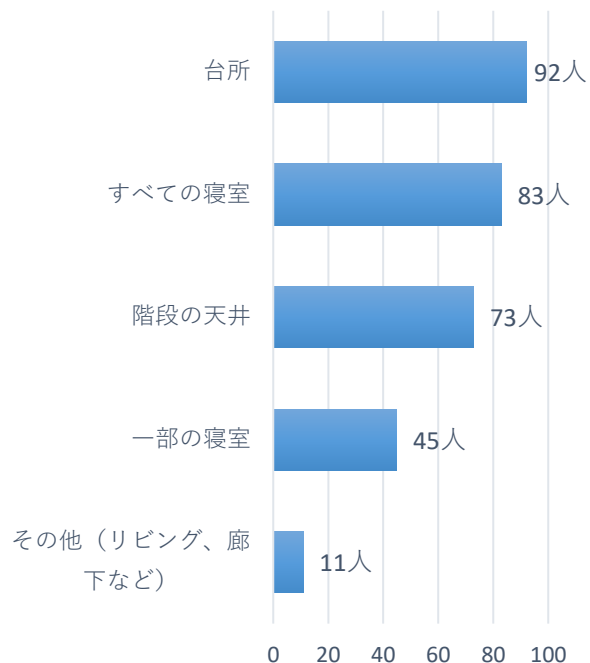
■ 設置している ■ 設置していない

Q2で「設置している」と回答された方

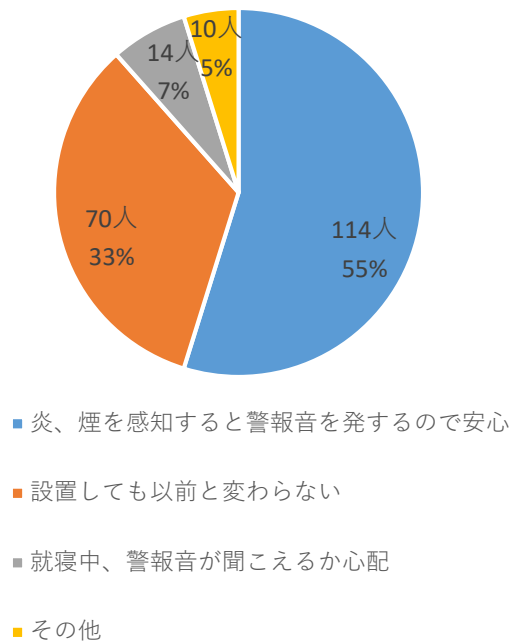
Q3.
あなたのお住いの住宅の形態は何ですか。



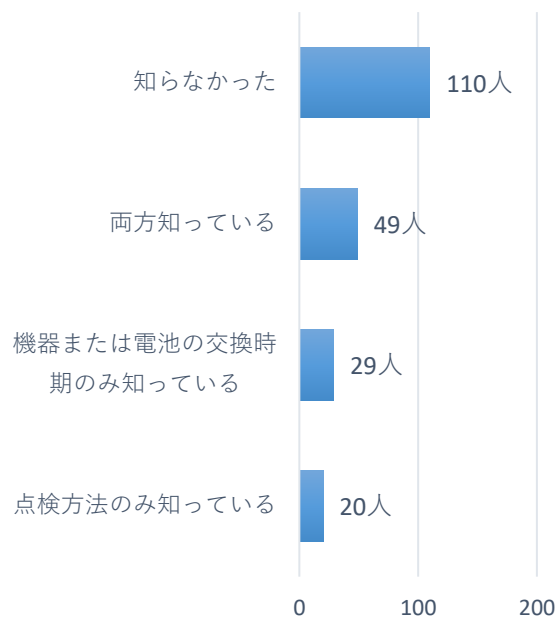
Q4.
「住宅用火災警報器」をご自宅のどこに取り付けていますか。
（複数選択可）



Q5.
「住宅用火災警報器」を設置した感想を教えてください。

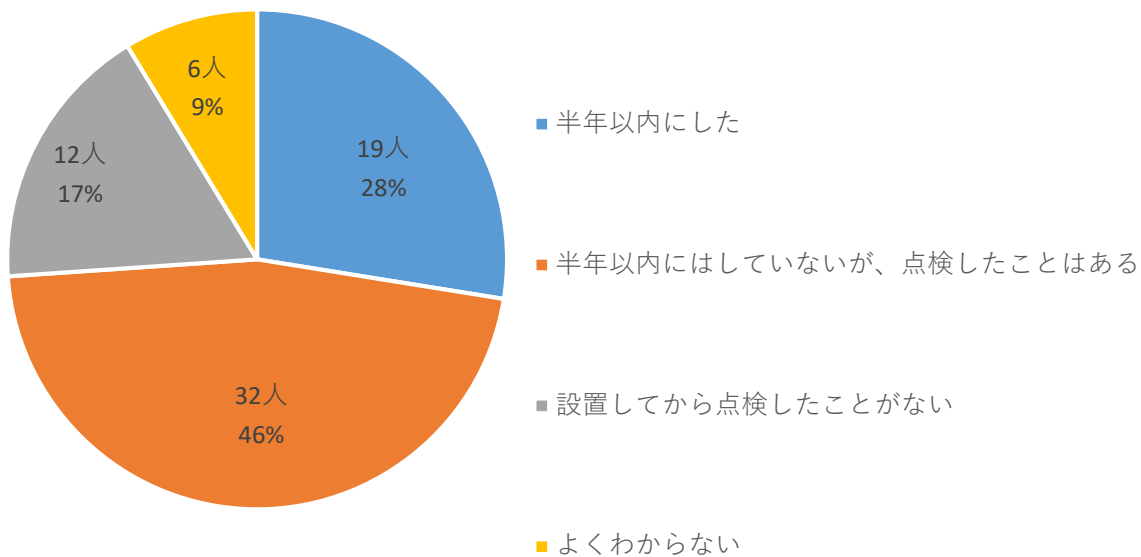


Q6.
「住宅用火災警報器」の点検方法、交換時期を知っていますか。



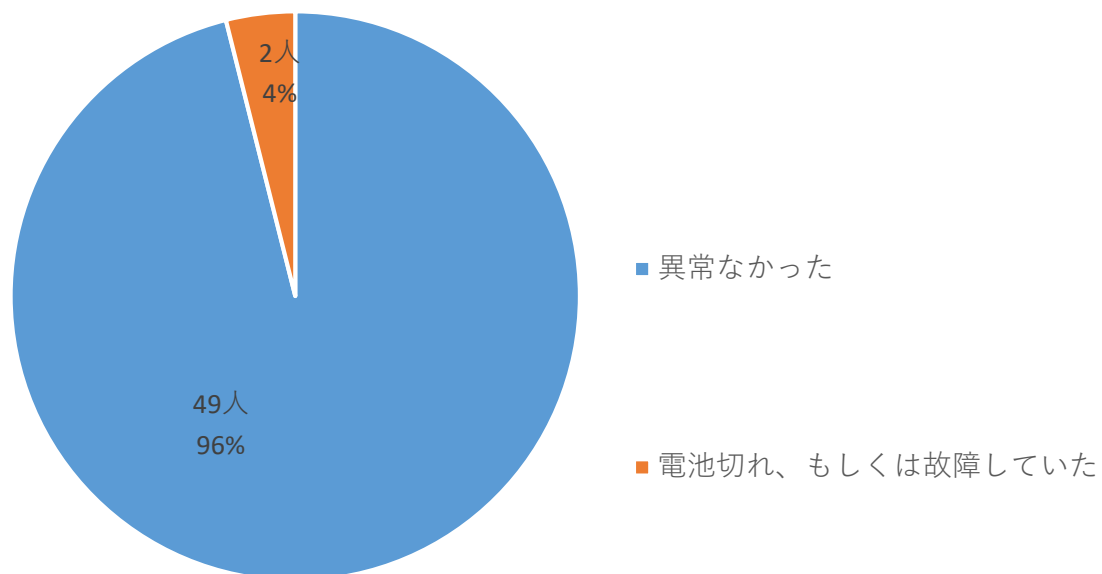
Q6で「両方知っている」または「点検方法のみ知っている」と回答された方

Q7. 「住宅用火災警報器」の点検をされていますか。



Q7で「半年以内にした」または「半年以内にはしていないが、点検したことはある」と回答された方

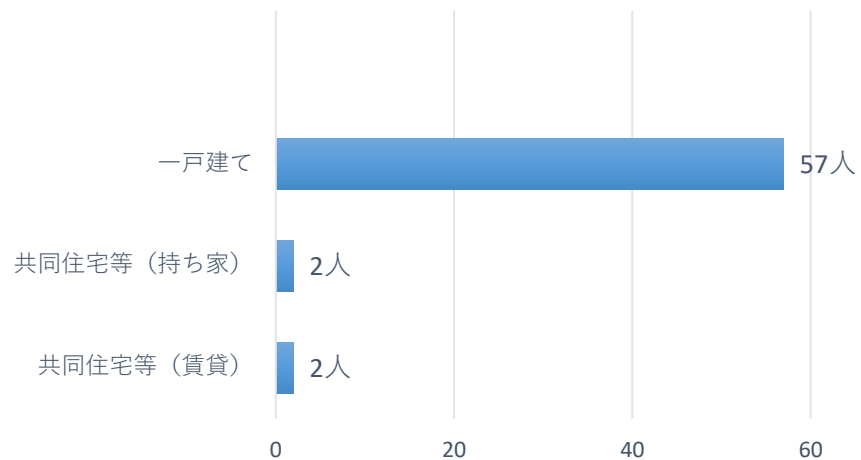
Q8. 「住宅用火災警報器」を点検した結果はどうでしたか。



Q2で「設置していない」と回答された方

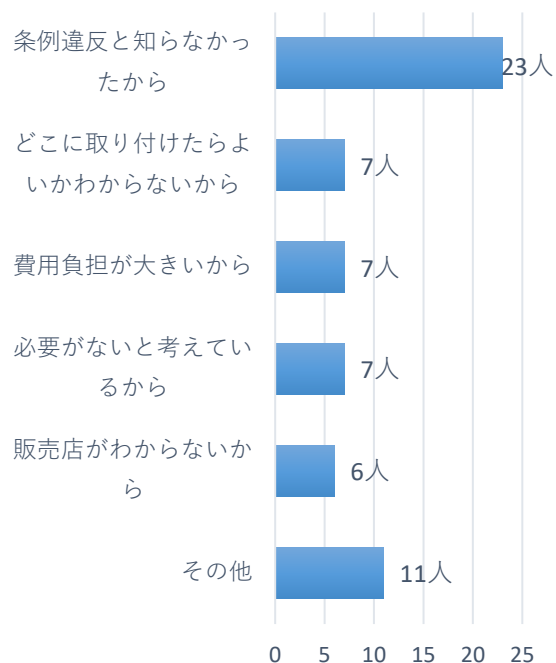
Q9.

あなたのお住いの住宅の形態はなんですか。



Q10.

「住宅用火災警報器」を設置していない理由はなぜですか。



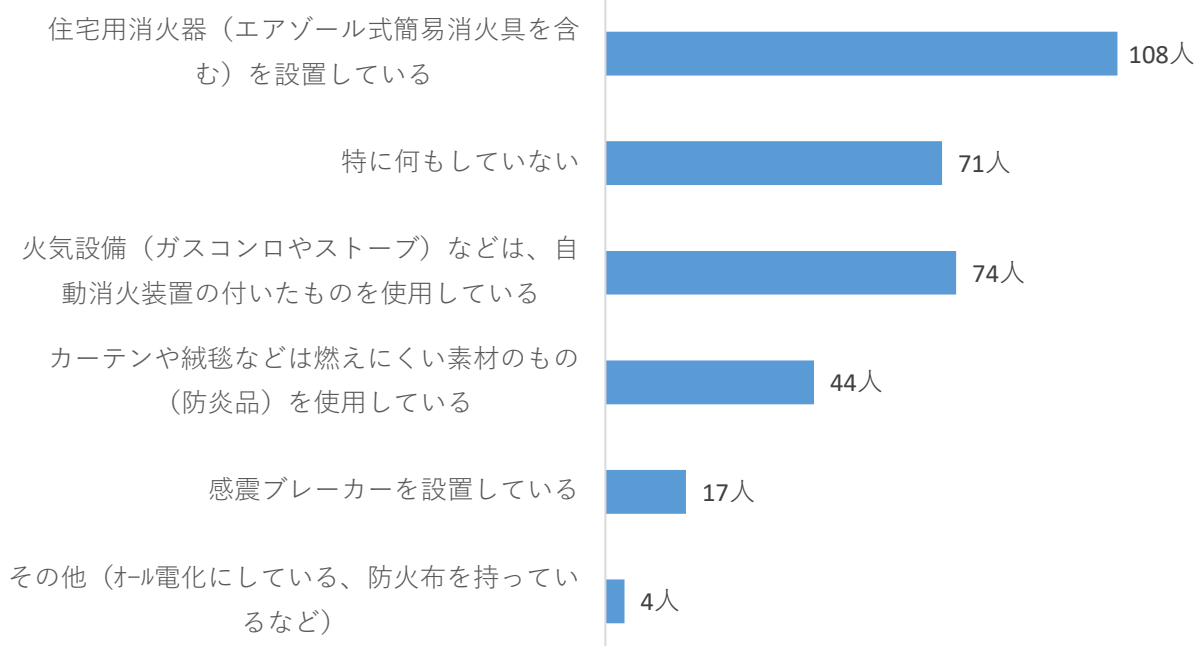
【その他】

※同様の内容は要約して記載しています。ご了承ください。

- ・設置が面倒。
- ・勝手に付けられない。
- ・自宅で火を使わないから。
- ・必要なので買ってはいる。
- ・近いうちには設置したい。

Q11.

「住宅用火災警報器」のほかに住宅火災対策を行っていますか。
(複数選択可)



Q12.

火災予防の取り組み全般について、ご意見ありましたら自由にご記入ください。

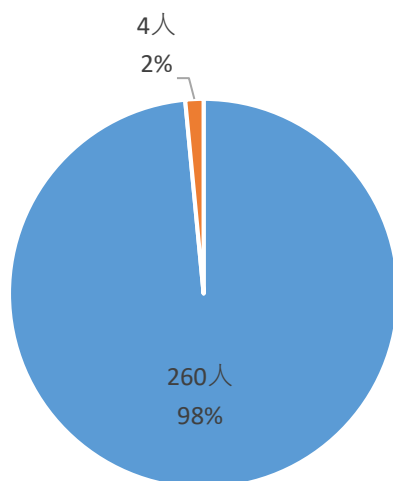
※同様の内容等は要約して記載しています。ご了承ください。

- ・家に来られても対応に困るので、住宅防火診断を各戸訪問するのではなく、地区単位で実施してはどうか。
- ・住宅防火診断の各戸訪問は不在の場合、チラシだけ投函されており、効果は薄い。
- ・PRする場合は、もっとわかりやすくするとよい。
- ・広報誌で定期的に火災予防について周知するとよい。
- ・ガスコンロをIHに替えると火事になる可能性が低くなると思う。
- ・古い住居は、気付かない場所での漏電火災が心配。
- ・消火器の耐用年数を意識していない住宅が多い。
- ・地域の消防団が、地域のために頑張ってくれていることをPRすべき。
- ・高齢者のみの住宅には特に配慮や補助が必要だと思う。
- ・住宅用火災警報器の交換に補助等があれば普及すると思う。
- ・火の周りに燃えやすいものを置かない等の対策をそれぞれがする必要がある。
- ・「自助、共助、公助」互いの連携が必要だと思います。
- ・古い消火器の回収方法など教えてほしい。
- ・家庭内の火災は予防出来るが、屋外の荒地等にタバコのポイ捨て等で山火事等が発生しないか心配です。

●応急手当の普及啓発について

Q13.

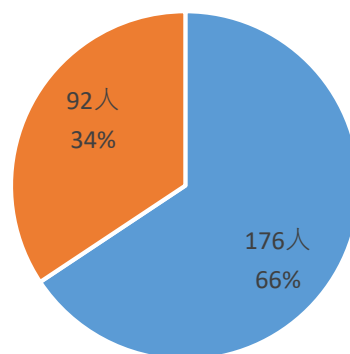
あなたの周りで急に倒れた方がいれば応急手当を実施する必要があると思いますか。



- 実施が必要である
- 実施する必要はない

Q14.

あなたは応急手当の講習に参加したことがありますか。



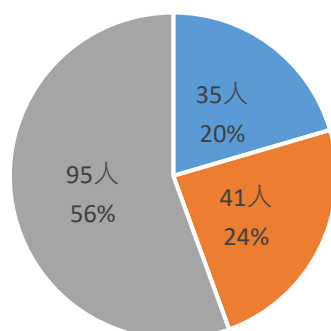
- 参加したことがある
- 参加したことがない

Q14で「参加したことがある」と回答された方

Q15で「できる」または「できる自信がある」と回答された方

Q15.

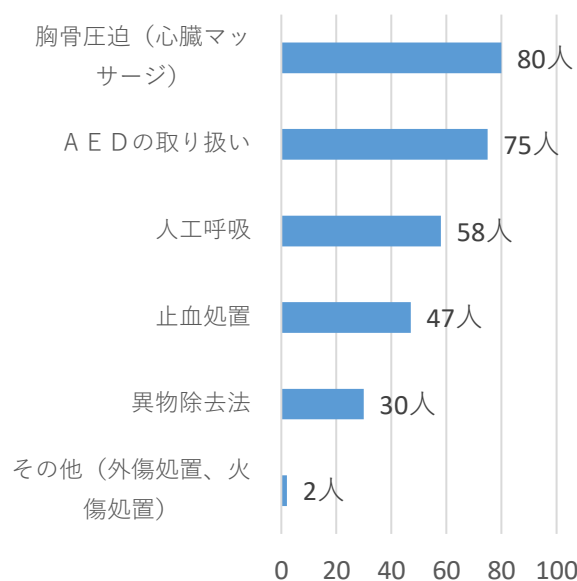
応急手当ができるようになったと思いますか。



- できる
- できる自信がある
- できる自信がない

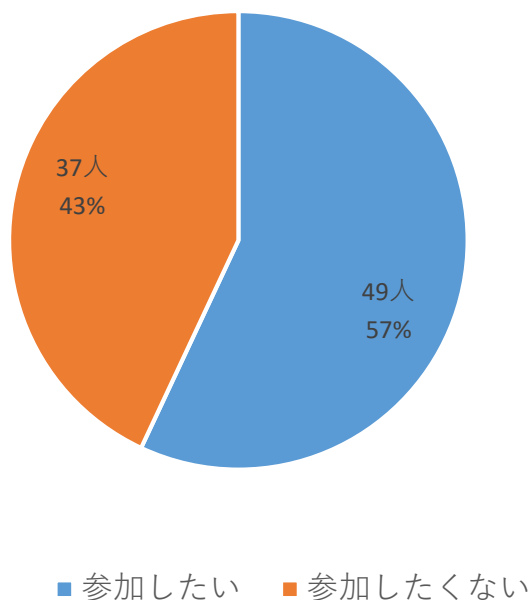
Q16.

次の項目のうち、あなたが、応急手当で実施できる項目を選んでください。（複数選択可）



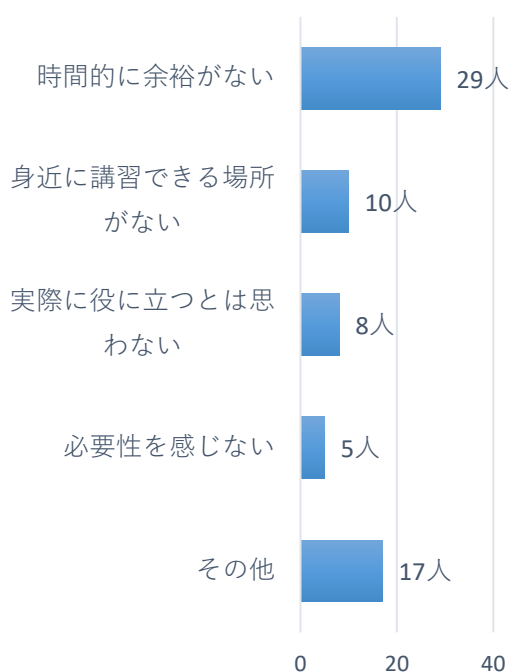
Q14で「参加したことがない」と回答された方

Q17.
応急手当の講習に参加したいと思いますか。



Q17で「参加したくない」と回答された方

Q18.
応急手当の講習に参加したくない理由を教えてください。（複数選択可）



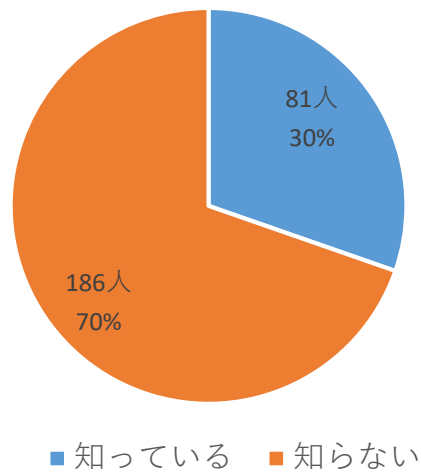
【その他】

※同様の内容は要約して記載しています。ご了承ください。

- ・ AED講習を数回受けたから
- ・ 高島は都会でもないの道も混んでいないのどうかつに手を出すよりも救急車を呼んだ方が早いと思うから
- ・ 仕事でしているから
- ・ 新型コロナウイルスの感染リスクがあるから
- ・ 高齢であるため
- ・ チラシでほぼ理解できるから
- ・ 学校で習っているから

Q19.

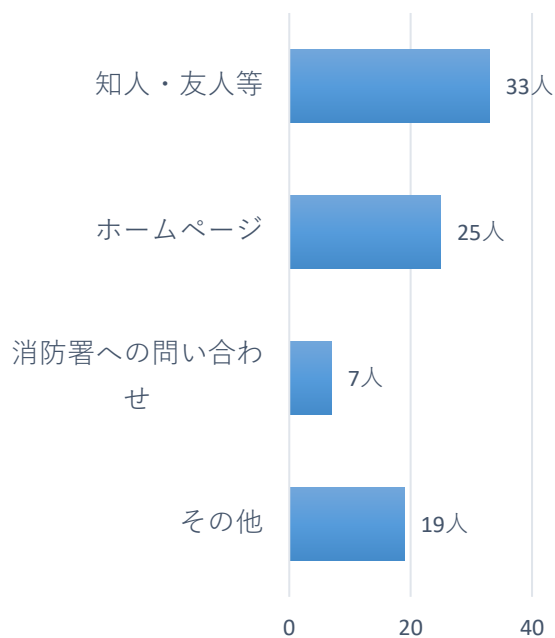
高島市消防本部では定期的に応急手当の講習を実施していることを知っていますか。



Q19で「知っている」と回答された方

Q20.

定期的に応急手当の講習を実施していることについて何を通じて知りましたか。
(複数選択可)



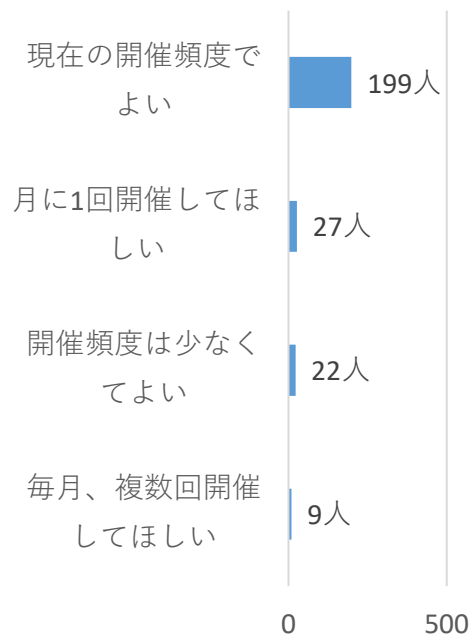
【その他】

※同様の内容は要約して記載しています。ご了承ください。

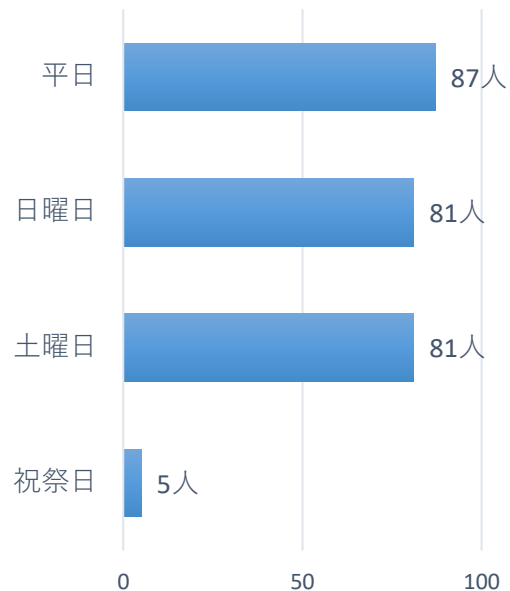
- ・広報誌
- ・消防団だから知っている
- ・職場で聞いた
- ・講習を受けた時に聞いた

Q21.

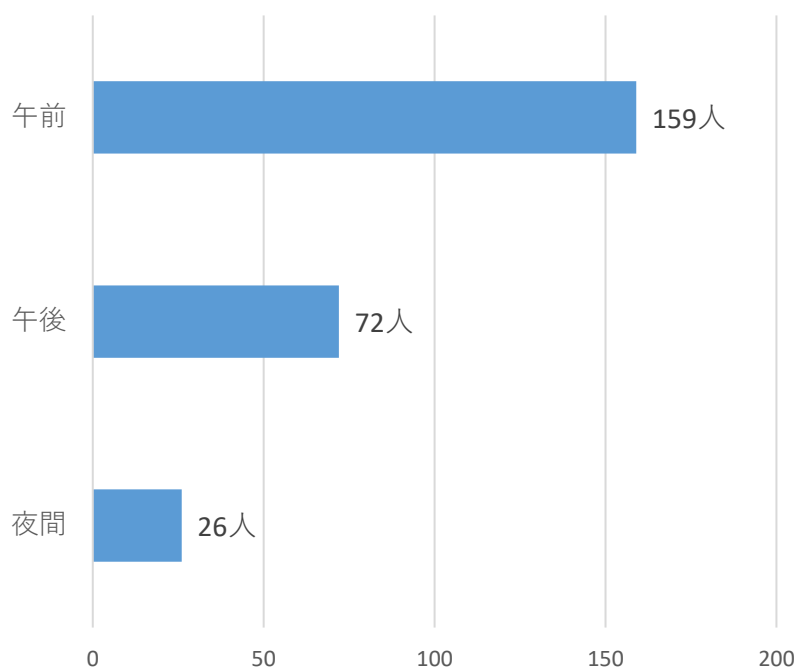
現状、高島市消防本部では、定期的な応急手当の講習として年9回実施しています。この開催回数についてお伺いします。

**Q22.**

応急手当の講習に参加する場合、参加しやすい日を選んでください。

**Q23.**

応急手当の講習に参加する場合、参加しやすい時間を選んでください。



Q24.

応急手当の普及啓発に関することについてご意見がありましたら自由にご記入ください。

※同様の内容等は要約して記載しています。ご了承ください。

- ・職場単位で平日に実施してもらいたい。
- ・ブラックユーモアを使ったキャラクターでPRする
- ・地域のイベントや学校などで、応急手当での講習を実施してもらえると、参加しやすいと思う。
- ・応急手当方法の手順が記載されたようなものを各家庭に配布する。
- ・大人への講習も大事ではあるが、子供の頃から学校において定期的な講習会を受講すると、防災意識が備わると思う。
- ・開催日がわかりづらいので考えてほしい。
- ・講習はわかりやすく楽しくできるようにしてほしい。
- ・各学区での出張講習など、消防署や公民館から遠い人でも積極的に参加できる機会を作って欲しい。
- ・AEDの設置場所を知りたいです。
- ・少人数での講習会を実施すべきであると思います。
- ・応急手当の講習に一回や二回程度参加しても実際いざというとき出来る自信もないから、継続的な参加が必要かなとも思います。
- ・応急手当は知っていても実際に使う機会は少ないので、知っているつもりでも忘れていた事が多いと思います。その為にも年に一度は講習を受け、いざという時に役に立てるようにしておきたいものです。